まちの話題

日頃の訓練の成果を発揮　市消防操法大会
～優勝!「小型ポンプの部」勝目分団、「ポンプ車の部」粟ケ窪分団～

　第５回南九州市消防操法大会が、７月６日、知覧平和公園北側駐車場で開催されました。大会では、頴娃、知覧、川辺の各方面隊から「小型ポンプの部」に13分団、「ポンプ車の部」に17分団が出場し、ポンプ・ホースの操作などの速さや正確さなどを競いました。各分団は５月初旬から操法大会に向け、仕事を終えてから行っていた訓練の成果を発揮していました。優勝した両分団は７月20日に開催されます川辺支部操法大会に出場します。

▲「小型ポンプの部」で優勝した勝目分団の団員。左から野入嘉博さん、尾山正記さん、清藤剛史さん、神薗剛さん

▲「ポンプ車の部」で優勝した粟ケ窪分団の団員。
前列左から高吉雄二さん、粟ケ窪久さん、一氏直樹さん
後列左から満永孝哉さん、外園孝博さん

■小型ポンプの部

順　位	分 団 名
優　勝	川辺方面隊　勝目分団
準優勝	知覧方面隊　中央分団
３　位	川辺方面隊　大丸分団

■ポンプ車の部

順　位	分 団 名
優　勝	頴娃方面隊　粟ケ窪分団
準優勝	川辺方面隊　東区分団
３　位	頴娃方面隊　宮脇分団

ひまわり迷路　製作中♪
～川辺町青年農業者の会～

　6月15日、高田小学校近くの田んぼにおいて、南九州市農業青年クラブの川辺町青年農業者の会による「ひまわり迷路」の製作作業が行われました。この「ひまわり迷路」製作は、今回初めての取り組みであり、目で楽しむだけでなく、子どもたちに自然とふれ合う場を提供したいと一般開放も予定されています。完成を楽しみにお待ちください。

▲「ひまわり迷路」の完成は７月下旬を予定。

▼知覧特攻平和会館の入口に展示された「特攻の母」故・鳥濵トメさんと特攻兵の巨大画（縦1.55m ×横2.4m）。

「特攻の母」６万本のつまようじで制作
～川辺高校１年生、平和への願いをこめて～

　川辺高校の１年生97人は文化祭の展示発表に、平和への願いを込めた「つまようじアート」を作成しました。生徒らは、市が知覧特攻平和会館所蔵の「遺書や手紙」のユネスコ世界記憶遺産登録を目指していることを知り、地元の高校生として、少しでも後押し出来ないか考え、特攻の母と慕われた鳥濵トメさんと特攻兵の方々を表現することを決めたそうです。

環境保全活動表彰を受賞
～薩南工業高校～

6月4日、かごしま県民交流センターにおいて、薩南工業高校が、地域における環境保全に向けた実践活動が他の模範となるなどの功績があったとして、優秀団体として表彰されました。また、大会のなかで事例発表も行い、「木工教室や木端、おがくずの再利用、ねぷたの LED 化」などの校内外の数多くの活動の様子を紹介しました。

▲薩南工業高校の代表として寺野大希くん、森田大貴くん、石原未来さんの３人が、地球環境を守るかごしま県民運動推進大会に出席しました。

松ヶ浦小学校が漂着ごみを分類
～海上保安署と合同で～

6月 10 日、松ヶ浦小学校３～６年生の児童 19 人が海上保安署と合同で、知覧地域の四角場浜海岸で漂着ごみの分類調査を行いました。当日は、あいにくの雨が降り天候には恵まれませんでしたが、児童の皆さんは海岸にあった約 70kg のごみを回収し、日本や海外からの漂着ごみがたくさんあることを知るいい機会となりました。

▲海や川の散乱ごみの調査や清掃活動を通じて、クリーンアップキャンペーン参加証明書も授与しました。

青戸小学校が水産体験学習
～今年も水産高校がやってきた～

6月 13 日、石垣港で青戸小学校３年生 15 人、６年生１人が参加して、水産体験学習が行われました。放流前にはヒラメに関する説明が、放流後には質問会が行われ、児童らの素朴な疑問に同高校の溝端先生と生徒がわかりやすく丁寧に答えてくださり、水産業とそれを取り巻く環境問題について学習することができました。

▲鹿児島水産高校が生産した約 2,000 尾のヒラメ稚魚を、児童らは無事に育って欲しいと願いを込めて大切に放流していました。

九州管区行政評価局長表彰を受賞
～齊藤 耕太郎 さん（頴娃町別府）～

行政相談委員を 13 年間務められている齊藤耕太郎さんが、５月 16 日の平成 26 年度鹿児島県行政相談委員全体会議で、九州管区行政評価局長表彰を受けられました。これは、齊藤さんが行政相談委員として住民の良き相談相手となり、公平で中立な立場から意見や要望を聞き、住民の福祉の向上と行政運営の改善に尽力され、その功績が認められたものです。

▲齊藤さんは「県や市または裁判所の方などが協力して迅速に対応していただいたおかげで大変光栄です」と受賞の喜びを話されました。